

# 文教分野向け業務システムパッケージ NALIS<sup>®</sup>、LiveCampus<sup>®</sup>でセキュリティを大幅に向上させるクラウド WAF バンドリングサービスを開始

2016年5月25日  
株式会社 NTT データ九州

株式会社 NTT データ九州（福岡市博多区、代表取締役社長：茅原英徳、以下 NTT データ九州）では、全国の大学・公立図書館向けに販売する図書館向け業務システムパッケージ「NALIS（ナリス）」及び同じく大学向けに販売する学務支援システムパッケージ「LiveCampus」利用ユーザ向けに、合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティ（東京都港区、代表取締役社長：日隈寛和、以下シマンテック）が提供するクラウド型ウェブ・アプリケーション・ファイアウォール（以下 WAF）サービス「シマンテック クラウド型 WAF」のバンドリングサービスを6月1日より無償で提供開始します。

「NALIS」は、図書館において職員の業務を支援し、図書館利用者の利便性の向上を目的とした図書館情報システムです。また「LiveCampus」は、大学運営に関わる様々な事務作業を総合的にサポートし、作業負担の軽減や学生サービスの向上を目的とした大学向け業務システムです。

バンドリングサービスは新規顧客向けのソフトウェア保守サービスの標準メニューとして提供を行うほか、既にパッケージをご利用いただきソフトウェア保守を実施しているお客様に対しても2016年6月より順次導入を進めていきます。

NTT データ九州は、これからも公共性の高い文教分野向けの業務ソリューションパートナーとして、より高いセキュリティとより先進的な製品を組み合わせることで、新たな付加価値を創造していきます。

## バンドリングサービス（無償提供）の開始について

NTT データ九州の文教分野向け業務システムパッケージ「NALIS」及び「LiveCampus」は、2016年4月現在、全国の大学・公立図書館のべ105機関254システムでご利用いただいております。そのうち100機関128サイトがインターネットを経由して外部から一般ユーザが利用できる機能を提供しています。

しかし、近年の情報システムを取り巻く状況の変化に伴い、業務システムを構成するソフトウェアや OSS、OS などのセキュリティ脆弱性の報告も相次いでおり、一旦脆弱性が確認されたプログラムについては緊急でパッチプログラムの適用が必要になるなど、セキュリティ・インシデント対策の重要度は高まる一方で、その突発性・緊急性はパッチの適用を行うお客様だけでなく提供側であるソフトウェアベンダ側も合わせ双方ともが持つ大きなリスクとなっています。

NTT データ九州では、こういった状況から、従来の「インシデントが発生してから突発的に対応するソフトウェア保守」から、「問題自体が発生しないように常に監視し、ソフトウェア保守サービスで積極的に対策を行う」体制への転換を図るべく、ソフトウェア保守サービスの標準メニューとして、ソフトウェアを外部の攻撃から防御できるクラウド型 WAF サービスのバンドリングを自社の費用負担で提供することにしました。

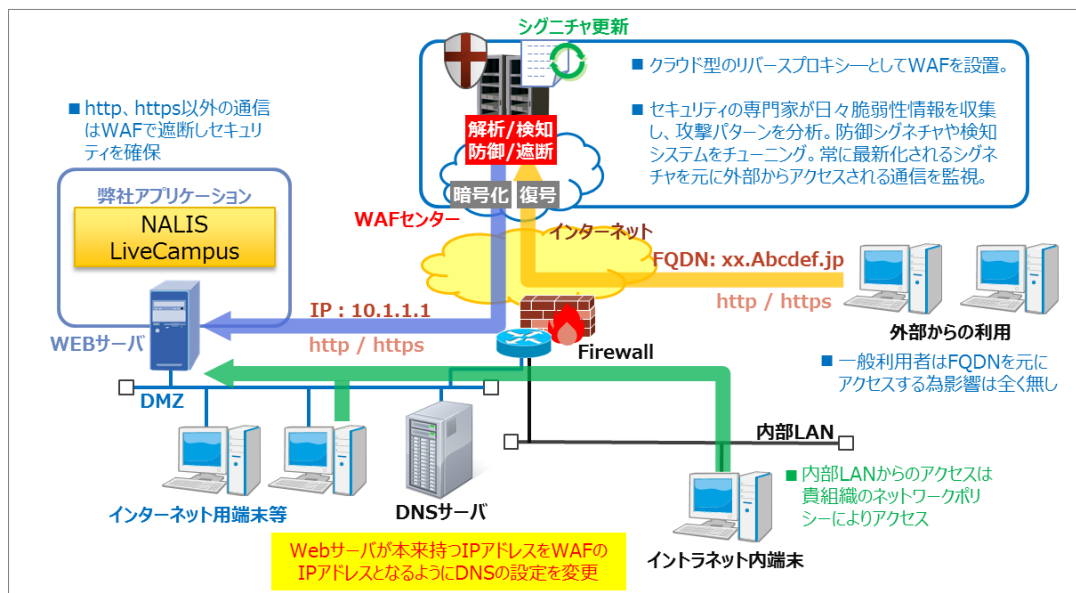
## シマンテック クラウド型 WAF

シマンテック クラウド型 WAF は、国内 SaaS 型 WAF 市場で著名な株式会社セキュアスカイ・テクノロジー（東京都千代田区、代表取締役：乗口雅充、以下 SST）のサービス「Scutum」を利用して展開されるセキュリティソリューションで、外部からウェブサイトへアクセスする全ての通信を WAF センター側で一元的に検査・防御することで、常に最新の技術でセキュリティ・インシデントへの対応を行う事が出来るサービスです。クライアントからシステムへのアクセス経路を全て信頼性の高いシマンテックの SSL サーバ証明書で盗聴されない安全な通信経路を通じて提供されるものです。

NTT データ九州では、本取組みにおいてシマンテックと特別包括提携を行い、高い信頼性と多くの実績をもつ当サービスをパッケージバンドリングサービスとして採用しました。

## ウェブサイト攻撃への防御の仕組み

外部インターネットからウェブサイトを利用する際、利用者は今までと同じアドレスを辿ってシステムへアクセスしますが、DNS 設定にて向き先を WAF センタに変更することで、通信を WAF センター経由に変更し、脆弱性を狙った攻撃であれば検知・遮断します。（下図参照）



## 今後について

2016年6月以降、新規契約するお客様を含めて全てWAFバンドリングの対象となります。既にシステムを導入いただいているお客様については、順次導入展開する予定です。（担当営業よりご案内させていただきます。）

NTTデータ九州では、今後クラウドWAF導入を前提としたソフトウェア保守形態に順次移行し、セキュリティ・インシデント対応についても事案発生時に公的な基準に基づいた対処方針を明示する体制を整備するなど、さらにソフトウェア保守サービスの改善を図っていく計画です。

## 参考

シマンテック クラウド型 WAF WEB サイト  
<http://go.symantec.com/waf-info-jp/> <外部リンク>

SST「クラウド型 WAF サービス【スキュータム】」WEB サイト  
<https://www.scutum.jp/> <外部リンク>

「NALIS」及び「LiveCampus」は NTT データ九州の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です。

合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティは米国シマンテック・コーポレーションの完全子会社で、SSL サーバ証明書、コードサイニング証明書、クラウド型 WAF など、ウェブサイトのセキュリティを守るためのサービスを提供しています。

## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 NTT データ九州  
公共基盤事業部 文教ビジネス部 営業担当  
後藤  
TEL : 092-475-5145